|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **公益財団法人横浜学術教育振興財団**  **出版刊行助成申請書** | | | |
| 平成 　　年 　　月 　　日 | | | |
| 公益財団法人横浜学術教育振興財団  理　事　長　　矢　部　　丈　太　郎　　様 |  |  | |
| 下記のとおり、貴財団の出版刊行助成に申請いたします。  **１．氏名・研究テーマ等** | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **（フリガナ）**  **氏　 名** |  | | | | |
|  | | | | |
| **生年月日** | 昭和・平成　 年　 月　 日生 | | 満　　　　歳（平成26年6月1日現在） | | |
| **現 住 所** | 〒 | | TEL： |  | |
|  | | e-mail: |  | |
| **所属機関** | 所在地 |  | | | |
| 機関名 |  | | | |
| 所属部署 |  | | 役職名 |  |
| **最終学歴** |  | | | | |
| **申請金額** | ￥　　　,０００（千円単位） | | | | |
| **書　　名** |  | | | | |
| **発行予定日** | 平成　 年　 月　 日 | | | | |
| **学位論文** | （助成対象は主として学位論文の出版とします。どちらかに○印をつけてください）  　（　　）学位論文　　　（　　）それ以外の研究書 | | | | |
| **研究実績** | （このページ内に入るよう、主要な実績についてまとめてください。） | | | | |

**２．研究論文刊行目的**

|  |
| --- |
|  |

**３．研究意義：期待される効果及び背景**

|  |
| --- |
|  |

　＜ここから改ページとしてください＞

**４．申請者連絡先等**（このページに記載していただいた内容は審査には使用しません。）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申請者氏名 | （もう一度記入してください） | | |
| 研究分野 | （ご自身の専門分野について自由に記載してください） | | |
| 電話連絡先  (日中の連絡先) | 優先順位　(※左の枠に番号で優先順位を入れてください) | | |
|  | 所属機関 | ( ) 　　　　　　　　　　（内線　　　　　　） |
|  | 自宅等 | （1ページ目と同じの場合は記載省略可）  　　　　 　( ) |
|  | 携帯電話 | （差し支えなければお知らせください。） |
| メールアドレス | メインのアドレス | | （1ページ目と同じの場合は記載省略可） |
| 携帯等 | | （携帯メールへの連絡も希望される場合のみ記載してください） |
| 書類郵送先 | 7月末の決定通知送付先 | | |
| （1ページ目と同じの場合は記載省略可）  〒 | | |
| 推薦者名 | 所属・職名 | |  |
| 氏　　名 | |  |

＜ご提出はこのページまで＞

**【助成金受給者の義務等に関する事項】**※よく内容をご確認の上申請してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **出版刊行助成** | | |
| １． | 受給者の義務 | 助成金受給者は以下の義務を負うものとします。  (1) 刊行に際し、当該成果が当財団の助成に基づくものであることを附記すること (2) 刊行図書2冊を理事長あて提出すること  (3) 当財団の学術教育活動に協力すること |
| 2． | 計画変更 | 助成金の対象となった刊行の計画を変更しようとする場合はあらかじめ理事長にその旨を申し出て、承認を得なければなりません。 |
| 3． | 採用取り消し及び返還 | 次の各号に該当する場合は採用を取り消し、既に支給されたものについては全額または一部の返還を求めることがあります。 (1)他の助成金を重複して受給したとき (2)申請書の内容が事実と著しく相違したとき (3)理由なく刊行を行わないとき (4)その他、理事長が不適当と認めたとき |

**【添付書類リスト】**（各1部）

|  |  |
| --- | --- |
| 1．　見積書 | 完成図書の概要及び経費が明記されている出版社作成のもの |
| ２．　完全原稿のコピー | ファイルにとじて提出のこと  （できれば表紙と背表紙に書名・申請者名を記載してください。） |
| ３． 要　旨 | 1,200字程度 |
| ４． 推薦書 | 所属長又は同分野の研究者、様式は自由 |